

2017年6月14日

報道関係各位

株式会社サンケイビル  
株式会社朝日新聞社

## サンケイビルと朝日新聞社の共同事業

# 「X-PRESS 有楽町 managed by S-GATE」 竣工

～基準階約120坪ミッドサイズオフィスビル～

株式会社サンケイビル（本社：東京都千代田区大手町／代表取締役社長：飯島一暢、以下「サンケイビル」）と株式会社朝日新聞社（本社：東京都中央区築地／代表取締役社長：渡辺雅隆、以下「朝日新聞社」）が東京都千代田区有楽町2丁目において共同で開発を進めて参りました「X-PRESS 有楽町」が5月31日に竣工いたしました。

本物件は、旧ラクチョウビルの再開発計画であり、株式会社産業経済新聞社（以下「産経新聞社」）と朝日新聞社の所有地の上において、サンケイビルと朝日新聞社が共同事業にて進めて参りました。トレンドの発信地である有楽町駅・銀座駅、文化と憩いの地である日比谷駅と、3駅8路線利用可能というビジネスと商業のクロスポイントに位置しており、新幹線線路に隣接した立地です。

自然と共生する壁面緑化・自然採光・自然換気等を備え、災害時にも安心な非常用発電機・異系統2回線受電システム、耐震基準の1.25倍の構造等、高いBCP対策を施しております。

本物件は、オフィスワーカーの安心・安全・快適性の高いミッドサイズオフィスビル「S-GATE」シリーズを展開するサンケイビルがビルマネジメントを行うことから、ビル名称に「managed by S-GATE」と表記し、テナント様に対しS-GATEと同水準のサービスを約束いたします。

サンケイビルと朝日新聞社は、双方の不動産開発ノウハウと豊富な情報力を活用し、今後も安心・安全のビル運営に取り組んで参ります。



スタイリッシュ且つスピード感を意識した外観デザイン

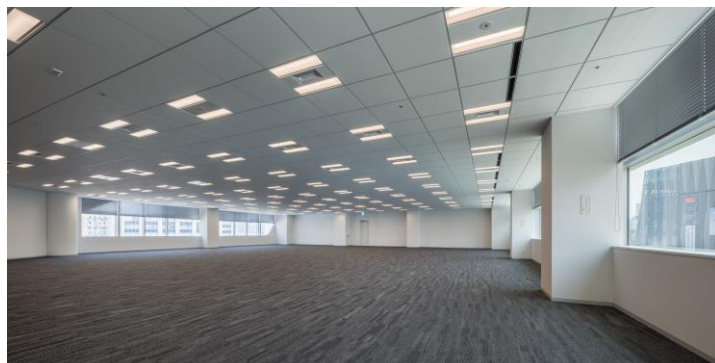
## ■オフィスフロア、エントランス、コモンスペース

### ＜オフィスフロア＞

柱を壁面に配置した無柱空間は、開放的かつ柔軟性に富んだオフィススペースを実現。ビジネスの生産性を高め、企業をさらに前進させます。



執務室（南側 銀座夜景の眺望）



執務室

### ＜エントランス＞

南北2つのエントランスは、北は日比谷、南は銀座・有楽町とそれぞれの街へと繋がり、明るく清潔感のあるエレベーターホールにはアロマ空調を設置。心地よいアロマの香りが来訪者をお迎えます。



北エントランス



エレベーターホール。アロマ空調を設置

### ＜コモンスペース＞

オフィスシーンを豊かにする快適性の高い共用スペース。女性トイレにはゆっくりと身だしなみを整えられるパウダーコーナーを併設。



基準階エレベーターホール



女子トイレ



## ■ビジネスを支える、安心の電源供給・耐震構造により BCP を強力にバックアップ

新耐震基準 1.25 倍相当の強度を採用。異系統 2 回線受電方式、非常用発電機を実装することで、テナントの BCP をバックアップ。

**X-PRESS 有楽町**  
X-PRESS Yurakucho

**新耐震基準**  
New Earthquake Resistance Standards  
**×1.25倍**

<p><b>新耐震基準クラス</b> New Earthquake Resistance Standard Class</p> <p><b>〈対象施設〉</b> 新耐震基準を満たす、一般的なオフィスビルや商業施設など。</p> <p><b>(Subject facilities)</b> General office buildings and commercial facilities that meet the new earthquake resistance standards.</p> <p>Ⅲ類：大地震動により構造体の部分的な損傷は生じるが、建築物全体の耐力の低下は著しくないことを目標とし、人命の安全確保が図られるもの。 Class III: Partial damage of a structure occurs after a large-scale earthquake, but the building has no rapid reduction of the overall bearing force of the building, ensuring the safety of human life.</p>	<p><b>〈対象施設〉</b> 災害応急対策活動に必要な施設であり、地域防災計画において避難所として位置づけられた施設。学校・福祉施設など。</p> <p><b>(Subject facilities)</b> Facilities that are required for emergency disaster control measures, and are designated as a shelter in a regional disaster prevention plan. Schools and welfare facilities.</p> <p>Ⅱ類：大地震動後、構造体の大きな補修をすることなく建築物を使用できることを目標とし、人命の安全確保に加えて機能確保が図られるもの。 Class II: A building can be used after a large-scale earthquake without major structural repairs. In addition to ensuring the safety of human life, the building should maintain its functionality.</p>
---	---

※「官庁施設の基本的性能に関する技術基準及び同解説（公共建築協会）」  
※"Technical Standards for Basic Performance of Government Buildings and its Handbook" (the Public Buildings Association, Ltd.)

非常用発電機実装/異系統2回線受電  
Equipped with Emergency Generators and a Duplicate Line Power Receiving System

**非常用発電機**  
Emergency Generators

テナント貸室〜15VA/m<sup>2</sup>  
15VA/m<sup>2</sup> for each tenant

**24時間運転可能**  
24-hour-operable

テナント用発電機設置スペース  
Tenant generators installation space

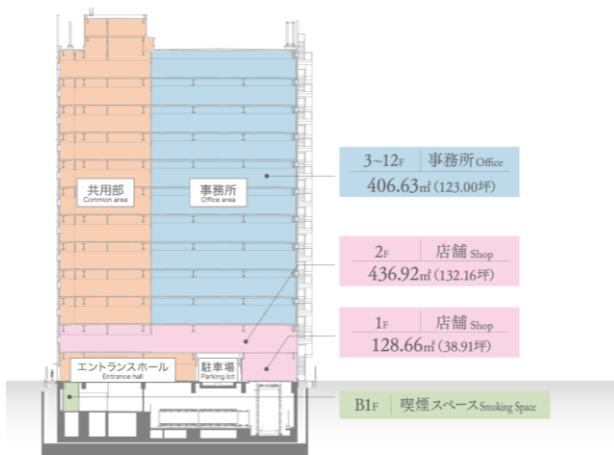


異系統2回線受電  
Dual Line System for Receiving Power

## ■物件概要

所在地	東京都千代田区有楽町二丁目2番1号
交通手段	東京メトロ「銀座」駅より徒歩 2 分 東京メトロ「日比谷」駅より徒歩 2 分 JR「有楽町」駅より徒歩 4 分
敷地面積	723.60 m <sup>2</sup> (218.89 坪)
延床面積	7,158.22 m <sup>2</sup> (2,165.36 坪)
専有面積	4,631.88 m <sup>2</sup> (1,401.14 坪) ※基準階 406.63 m <sup>2</sup> (123.00 坪)
建物用途	事務所、店舗、駐車場
構造・規模	鉄骨造、地上 12 階、地下 1 階、塔屋 1 階
設計	株式会社三菱地所設計
施工	戸田建設株式会社
竣工日	2017 年 5 月 31 日

## ■断面構成図



## ■アクセス



## ■名称の由来 ～X-PRESS (エクスプレス) 有楽町～

新幹線に隣接する立地性と『企業の成長を加速させる』という意味を込め、“EXPRESS”から取り、表記は「EXPRESS」ではなく、二社のコラボレーションを表現する為『×(かける) 掛け合わせる』という意味を込めて「X」を用い、産経新聞社と朝日新聞社の土地にあることから「PRESS」を用いて「X-PRESS」とした。



## ■ミッドサイズオフィスビル「S-GATE」とは

S-GATEは、「走り続ける企業に、エネルギーと安らぎを」というブランドビジョンのもと、進化する企業とビジネスパーソンのために「Human Centricな心配りと快適性」「安心・安全・環境性」「BCP」という3つの必須要素を充実させた、サンケイビルが展開するミッドサイズオフィスビルシリーズです。「オフィスを選ぶ。ビジネスが変わる。」をキャッチコピーとし、進化し続ける企業のためのオフィスとして、今後も都心5区を中心に事業展開して参ります。



公式ホームページ

<http://www.s-gate-office.com/>

### 【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社サンケイビル 広報課 竹田・伊藤

TEL:03-5542-1313

株式会社朝日新聞社 広報部

TEL:03-5540-7617

※本資料の配布先：国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会、東京都庁記者クラブ

以上